

3 課題解決に向けた「3つの視点」と「目指すべき姿」

I 水質改善、水量回復

「湖沼水質保全計画」に基づく各種施策の着実な実施により、沼の水質改善、水量回復を図り、沼底や水源の谷津において豊かな清水が湧くことを目指します。

II 生物生息環境の保全

水環境保全を進める上では、沼とその流域に住む様々な生物が生息・生育しやすい環境づくりも重要であり、生態系の保全等の対策により、人との共生や生物多様性が持続的に保持されていくことを目指します。

III 人と水との関わり合いの強化

環境学習や清掃活動等を通じて、より多くの人々が、水環境について考える契機を設け、ひいては、生活排水対策の実践など水環境保全の取組を促進することにより、一人ひとりの沼とその流域に対する意識の向上と、主体的な行動の増加を目指します。

「3つの視点」と「目指すべき姿」のイメージ図

